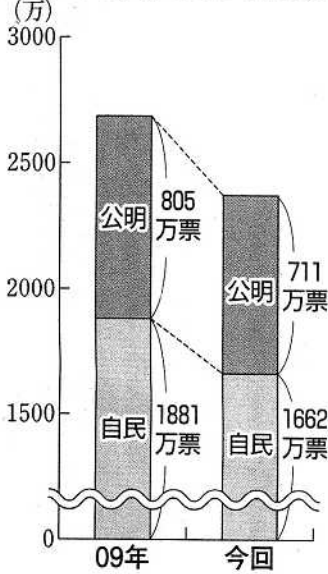


マスメディアは総選挙の開票を受けて、いっせいに「自公圧勝」などと報じています。確かに議席の上では、自

民294、公明31で両党合わせて衆院の3分の2以上を獲得しました。しかし、民意の実際を見ると一。

2009年総選挙と今回の比例代表の得票数

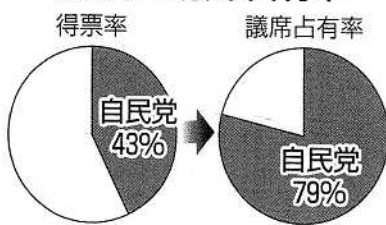


2009年総選挙と今回の比例獲得議席数



信任されたとはとてもいえない

自民党の小選挙区での得票率と議席占有率



選挙戦で自民党は争点を覆い隠す姿勢に終始しました。民主、公明両党と消費税大増税の合意を結んで法案を

民意をもっともよく反映する比例代表でみると、国民から「自公政権」の厳しい審判を受けた2009年衆院選よりもさらに自民は219万票減、公明も94万票減りました。つまり、「民主もダメだ

から自民へ」とは有権者は動かなかつたのです。そのことは有権者が模索し悩んだ結果、1000万人以上が棄権したことも表れています。投票率が前回比約10%も減となったため得票率が上がり、比例で見れば

議席で微増にすぎません。(グラフ参照) それは自民党自身が選挙戦で「自民党に風なんか吹いていない」(石破茂幹事長)と自認していた通りです。安倍晋三総裁も開票結果

を受けて「自民党に対してまだ完全に信頼が戻ったというところではない。3年間の民主政治の混乱に対してノーという結果だ」といわざるをえません。国民に信任されたとは、とてもいえない結果です。

自公圧勝と言われるが… 比例は自219万減、公94万減

09年比

得票減なのに大量議席

小選挙区の欠陥あらわ

自民が大きな議席を得たのは、比較第1党が議席を独占できる小選挙区制の影響です。自民は小選挙区でも前回比166万票減らして得票率は43%なの

に、議席占有率は79%にもなりました。民意を大政党本位にゆがめる小選挙区制の欠陥を示しています。自公両党の「圧勝」は、民主の公約破りによる「敵失」と、選挙制度に助けられたことで、選挙戦で自民党は争点を覆い隠す姿勢に終始しました。民主、公明両党と消費税大増税の合意を結んで法案を



選挙結果を受け、彦根市の事務所で支持者にあいさつする中川むつ子さん

甲良町における比例得票数

	今回		前回	
	得票数	得票率	得票数	得票率
共産	234	6.31	319	7.52
民主	610	16.46	1857	43.76
自民	1232	33.23	1430	33.69
未来	373	10.06		
公明	301	8.12	321	7.56
維新	616	16.62		
みんな	290	7.82	95	2.24
社民	36	0.97	121	2.85
幸福	15	0.40	28	0.65

今回：有効投票数 3707 投票率 61.32%
 前回：有効投票数 4244 投票率 68.32%
 新党日本、改革クラブ、国民新党について
 前は立候補がいましたが、今回近畿ブロックでは届け出がありませんので、ここに掲載していません。

年末の大変あわただしい中、ご支援いただき本当にありがとうございます。選挙結果は、国民の期待を裏切った民主党に厳しい審判が下されました。同時に自民・公明は議席で「圧勝」と言われますが、自民敗北の3年前よりも、県下全ての市町で減票し、甲良町で198票も減らしています。これは有権者が「自民戻り」とはならなかつたことを示したと思います。消費税10%への引き上げ、TPPへの参加、原発推進など、国民との矛盾はより深刻に進むと見られます。その上、安倍総裁は憲法9条を改悪し、「国防軍」とする動きをあらわにしています。私たちは、来夏の参議院選挙に向けて、「日本共産党ここにあり」の意気ですがんばります。引き続きご支援よろしくお願ひします。

甲良民報

2012年12月22日 号外
 発行責任：日本共産党甲良町議員団
 連絡：甲良町在士 463 (西澤)
 Tel. Fax 38-4949

□日本共産党の見解を紹介します。